

感謝の気持ちを胸に歌いたい



ふれあい雪まつりでは半袖半ズボン姿で圧巻（寒？）のパフォーマンスを披露



地元の輪厚からも多くの方が駆け付けた



ダンス&ボーカルユニット「NEVA GIVE UP」
で活動

安藤 裕也さん

あんどう・ゆうや
神奈川県在住。
北広島出身。西部中学校卒業。高校卒業まで市内で暮らす。高校卒業後、アイドルを目指し上京。エキストラや舞台など芸能活動を続けた。関東を中心に活動する男性7人のダンス&ボーカルユニットNEVA GIVE UP（通称ネバギブ）に、平成29年から所属している。



北広島ふれあい雪まつりで

2月2日・3日にイベント広場で開催された北広島ふれあい雪まつりで、ダンス&ボーカルユニットNEVA GIVE UPがパフォーマンスを披露した。

北広島出身の安藤裕也さんもメンバーの一員として、3回のステージで躍動。1曲ごとに観客から大きな歓声を送られていた。「地元の方々に温かく受け入れていただき感謝しています」と話した。

地域に見守られ

高校卒業まで輪厚で暮らした。地域では大人と子どもが互いに顔見知りで、子どもの頃には近所の方にいつも声掛けしてもらった。一方、注意や助言で社会生活の決まりごとを覚えてくれた。毎年冬に輪厚おやじの会が開いている雪遊びイベントはとても楽しみだった。乗馬体験や雪の迷路

などで遊んだことは、今でも懐かしく思い出す。

「温かい人が多く、地域の皆さんが僕を自分の子どものようにかわいがってくれました」と笑顔を見せた。

アイドルへの憧れ

小学生の時からテレビで見るアイドルグループに憧れていたが、自分には遠い世界だと思っていた。高校生の時に、友人と一緒に芸能界を目指そうと誘ってくれて卒業後に上京。芸能事務所所属してエキストラやコマーシャル、舞台などの仕事をした。友人は1年後に帰郷したが、安藤さんは東京に残り活動を続けた。

歌とダンスが自分に合っていると感じ、NEVA GIVE UPのオーディションに挑戦。平成24年に結成し、主に関東圏で活動しているユニットだ。特に茨城県での人気は高く、笠間市の特別観光大使を務

めている。安藤さんはオーディションで一度は落選したが、人間性を重視するというリーダーに認められ、追加で加入が決まった。

夢に向かって

メンバーになって1年目は、歌とダンスを猛練習した。新曲も次々に覚えなければならず、付いていくのがやっとだったそう。2年目になり、ようやく自信が持てるようになった。現在、年間約250本以上のライブに出演し、全国を飛び回る日々だ。

今回の北広島でのステージは、自分を支えてくれた家族や、地域の皆さんへ感謝の気持ちを伝える機会になったと感じている。「今後は北海道でのライブを増やしていきたい。北広島にボールパークが開業したら、イベントなどに出演したいです」と語る。熱いパフォーマンスが、また見られる日を楽しみにしたい。